



## 2022年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年4月27日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートアドボカシー &amp; リレーションズ部長 (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

定時株主総会開催予定日 2022年6月20日 配当支払開始予定日 2022年6月1日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	1,296,163	3.7	155,686	14.4	156,886	8.0	124,086	2.9	124,086	2.9	208,117	14.7
2021年3月期	1,249,528	△3.9	136,051	△44.2	145,324	△40.8	120,589	△38.3	120,589	△38.3	181,499	15.8
	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後1株当たり 当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率			
	円	銭	円	銭	%		%		%			
2022年3月期	67.08		67.05		8.7		6.8		12.0			
2021年3月期	64.93		64.90		9.0		6.3		10.9			

(参考) 持分法による投資損益 2022年3月期 489百万円 2021年3月期 478百万円

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円
2022年3月期	2,332,395	1,460,308	1,460,308	62.6	799.26
2021年3月期	2,273,628	1,386,115	1,386,115	61.0	748.03

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	257,444	△62,413	△216,298	315,986
2021年3月期	306,843	△81,894	△229,479	326,128

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%
2021年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00	78,147	64.7	5.8
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	92,393	74.5	6.5
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00		52.7	

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	1,443,000	11.3	269,000	72.8	267,000	70.2	208,000	67.6	208,000	67.6	113.84

コアベースでの連結業績予想は次の通りです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	1,443,000	11.3	290,000	18.5	223,000	17.0	122.05

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2022年3月期	1,835,851,575株	2021年3月期	1,861,787,075株
2022年3月期	8,777,623株	2021年3月期	8,757,705株
2022年3月期	1,849,713,089株	2021年3月期	1,857,125,157株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	542,568	△0.5	105,929	15.2	270,544	21.1	225,095	16.6
2021年3月期	545,553	△9.2	91,917	1.1	223,433	△23.8	193,055	△19.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	121.69	121.63
2021年3月期	103.95	103.89

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	1,388,556	873,622	62.9	477.81
2021年3月期	1,350,771	787,715	58.3	424.69

(参考) 自己資本 2022年3月期 872,992百万円 2021年3月期 786,970百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算短信の開示とあわせて決算補足資料及び決算説明会資料を開示しています。

また、2022年4月27日(水)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信+電話会議)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	10
(4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当	12
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	13
3. 連結財務諸表及び主な注記	14
(1) 連結純損益計算書	14
(2) 連結包括利益計算書	15
(3) 連結財政状態計算書	16
(4) 連結持分変動計算書	18
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	20
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	21
(継続企業の前提に関する注記)	21
(セグメント情報)	21
(1株当たり当期利益)	22
(重要な後発事象)	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の連結業績の概況

#### <連結業績（コアベース<sup>(注)</sup>）>

当期（2021年4月1日から2022年3月31日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。  
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア当期利益は減少しました。

#### [連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,249,528	<b>1,296,163</b>	+46,635 (+3.7%)
売上原価	246,063	<b>253,009</b>	+6,946 (+2.8%)
販売費及び 一般管理費	504,316	<b>548,840</b>	+44,523 (+8.8%)
研究開発費	224,489	<b>246,010</b>	+21,521 (+9.6%)
無形資産償却費	23,763	<b>28,283</b>	+4,520 (+19.0%)
無形資産譲渡益*	—	<b>24,234</b>	+24,234 (—)
持分法による投資損益	478	<b>489</b>	+11 (+2.2%)
コア営業利益	251,375	<b>244,744</b>	△6,631 (△2.6%)
コア当期利益	209,906	<b>190,584</b>	△19,322 (△9.2%)
基本的1株当たり コア当期利益（円）	113.03	<b>103.03</b>	△9.99 (△8.8%)

\*第3四半期から製品及び研究開発に関する権利の譲渡取引により生じる譲渡益を計上する科目を新設

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

### 【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジや急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタ、尿路上皮がん治療剤パドセブ、腎性貧血治療剤エベレンゾが伸長したほか、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガや骨粗鬆症治療剤イベニティの売上も拡大しました。
- ・ 加えて、COVID-19の感染拡大の影響で主に前第1四半期に売上が減少した心機能検査補助剤レキスキャンの売上が回復したことも、増収要因となりました。
- ・ これらによって、消炎・鎮痛剤セレコックスや高コレステロール血症治療剤リピトールの販売契約終了、前立腺がん治療剤エリガードの製品譲渡などによる売上の減少を補いました。

以上の結果、売上収益は、1兆2,962億円（前期比3.7%増）となりました。

### 【コア営業利益／コア当期利益】

- ・ 売上総利益は、1兆432億円（同4.0%増）となりました。売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響等を受けた一方で、主に製品構成の変化により、前期に比べ0.2ポイント低下し、19.5%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、5,488億円（同8.8%増）となりました。製品ポートフォリオの変化に伴うグローバルでの要員最適化による費用の減少（同約90億円減）があった一方で、為替の影響（同250億円増）をはじめ、XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加（同113億円増）やデジタルトランスフォーメーションへの投資（同約80億円増）、新製品上市・育成に向けた販売促進活動費用の増加（同約50億円増）などにより、総額として増加しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、4,095億円（同6.6%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、2,460億円（同9.6%増）となりました。為替の影響をはじめ、抗Claudin18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの開発費用の増加やRx+事業（iota関連）への投資を拡充したことなどにより、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、283億円（同19.0%増）となりました。
- ・ 無形資産譲渡益は、242億円となりました。第3四半期において、欧州などで販売していた5製品のCheplapharm社への譲渡（123億円）や開発品の譲渡（92億円）、ベンダムスチンの譲渡（20億円）などに伴う譲渡益を計上しました。

以上の結果、コア営業利益は2,447億円（同2.6%減）、コア当期利益は1,906億円（同9.2%減）となりました。

### 【為替の業績への影響】

当期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては596億円の増加、コア営業利益においては185億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前期	当期	変動
米ドル/円	106	112	6円安
ユーロ/円	124	131	7円安

期首・期末の変動	前期	当期
米ドル/円	2円安	11円安
ユーロ/円	10円安	5円安

## <連結業績（フルベース）>

当期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。  
売上収益、営業利益及び当期利益はいずれも増加しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当期における「その他の収益」は153億円（前期：76億円）、「その他の費用」は1,043億円（同：1,230億円）になりました。

「その他の費用」として、第4四半期において、遺伝子治療薬AT132の開発計画の見直しに伴う無形資産の減損損失（312億円）やDNAワクチンASP2390の開発の中止に伴う無形資産の減損損失（113億円）、GITRアゴニスト抗体ASP1951の開発中止に伴うのれんの減損損失（52億円）を計上しました。

### [連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,249,528	<b>1,296,163</b>	+46,635 (+3.7%)
営業利益	136,051	<b>155,686</b>	+19,635 (+14.4%)
税引前利益	145,324	<b>156,886</b>	+11,563 (+8.0%)
当期利益	120,589	<b>124,086</b>	+3,497 (+2.9%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	64.93	<b>67.08</b>	+2.15 (+3.3%)
包括利益	181,499	<b>208,117</b>	+26,618 (+14.7%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)	増減率
XTANDI／イクスタンジ	4,584	<b>5,343</b>	+16.6%
ゾスパタ	238	<b>341</b>	+42.9%
パドセブ	128	<b>217</b>	+69.5%
エベレンゾ	11	<b>26</b>	+131.5%
ベタニス／ミラベトリック ／ベットミガ	1,636	<b>1,723</b>	+5.3%
プログラフ*	1,827	<b>1,854</b>	+1.5%

\*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

<XTANDI／イクスタンジ>

- ・さらなるマーケットアクセスの強化と泌尿器科医への一層の浸透に取り組むとともに、発売後に蓄積した臨床試験に基づく豊富なデータを活用して早期ステージの前立腺がん市場における処方拡大を図り、販売している全ての地域で売上が拡大しました。
- ・米国において前期と比べて大きく伸長したほか、欧州においては「転移性ホルモン感受性前立腺がん(M1 HSPC)」の適応追加(2021年4月承認)が売上の拡大に貢献しました。加えて、日本や中国、インターナショナルマーケットにおいても引き続き力強い成長を示しました。

<ゾスパタ>

- ・血液内科専門医やがん専門医への浸透、製品認知度向上やFLT3遺伝子変異検査実施率の向上に取り組むなど、マーケットリーダーとしてのポジショニングの確立を図り、販売している全ての地域で売上が拡大しました。
- ・米国と欧州において前期と比べて伸長したことに加えて、2021年4月に発売した中国での売上也貢献しました。また、インターナショナルマーケットにおいて承認国が増加したほか、日本においては現在の適応症で高いマーケットシェアを獲得しました。

<パドセブ>

- ・米国において既存の適応症の患者層に対する推奨治療オプションとしてのポジショニングの確立を図るとともに、「シスプラチン不適応で治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がん」の適応追加(2021年7月承認)も貢献し、共同販促収入は想定どおりに伸長しました。
- ・2021年11月に発売した日本においては、想定を上回る立ち上がりを示しました。加えて、欧州においては、2022年4月に白金製剤を含む化学療法およびPD-1またはPD-L1阻害剤による治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がん患者における単剤療法として、承認を取得しました。

### <エベレンゾ>

- ・ 日本においてマーケットシェアの拡大に取り組むなど売上は拡大したものの、市場での競争激化の影響で、売上は想定を下回りました。
- ・ 2021年9月に発売した欧州においては、COVID-19の感染拡大の影響で発売時の販売促進活動が制限されたことに加えて、既存の標準治療薬との差別化の浸透が想定を下回り、売上は想定を下回りました。

### <ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・ 主に欧州と日本において伸長し、グローバルの売上は拡大しました。

### <プログラフ>

- ・ 欧州や中国で伸長した一方で、米国や日本で売上が減少するなど、地域ごとに増減はあったものの、グローバルの売上は想定どおりに推移しました。

### 【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国、エスタブリッシュドマーケット及びグレーターチャイナは増加した一方、日本及びインターナショナルマーケットは減少しました。

(単位：億円)

	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)	増減率
日本	2,791	<b>2,588</b>	△7.3%
米国	4,732	<b>5,375</b>	+13.6%
エスタブリッシュド マーケット*1	2,932	<b>3,152</b>	+7.5%
グレーターチャイナ*2	593	<b>663</b>	+11.8%
インターナショナル マーケット*3	1,111	<b>1,101</b>	△0.9%

\*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

\*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

\*3 インターナショナルマーケット：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等



## ② 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に対する主な取り組み

当社は、COVID-19の感染拡大を受け、製薬会社の使命として患者さんの安全確保及び医療現場の負担軽減に寄与するべく様々な取り組みを行っています。これまでに、医薬品の安定供給、治療薬等の研究開発への貢献、感染が拡大する地域への救援などの取り組みを実施しています。

当社の主な取り組みは、当社ウェブサイト (<https://www.astellas.com/jp/covid-19>) にて公開していますのでご確認ください。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、資本及び負債の状況

当期末（2022年3月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

#### 【資産】

総資産は、2兆3,324億円（前期末比588億円増）となりました。

<非流動資産>当期末：1兆4,090億円（同80億円増）

- ・有形固定資産は、2,690億円（同44億円増）となりました。
- ・のれんは3,030億円（同190億円増）、無形資産は6,234億円（同280億円減）となりました。
- ・第4四半期において、遺伝子治療薬AT132の開発計画の見直しに伴う無形資産の減損損失やDNAワクチンASP2390の開発中止に伴う無形資産の減損損失を計上したなどにより、無形資産が減少しました。

<流動資産>当期末：9,234億円（同508億円増）

- ・現金及び現金同等物は3,160億円（同101億円減）となりました。

#### 【資本】

資本合計は、1兆4,603億円（同742億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は62.6%となりました。

- ・当期利益1,241億円を計上した一方で、剰余金の配当852億円に加え、自己株式の取得507億円を実施しました。
- ・なお、2022年3月に514億円（2,594万株）の自己株式を消却しました。

#### 【負債】

負債合計は、8,721億円（同154億円減）となりました。

<非流動負債>当期末：1,847億円（同1,105億円減）

- ・その他の金融負債は959億円（同1,031億円減）となりました。
- ・第4四半期において、長期借入金300億円の返済及び1年以内返済予定の長期借入金への500億円の振替により、減少しました。

<流動負債>当期末：6,874億円（同950億円増）

- ・当期末の社債及び借入金の残高は1,400億円となりました。
- ・上述の長期借入金からの振替などにより、その他の金融負債は1,850億円（同368億円増）となりました。その他の流動負債は3,228億円（同339億円増）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,574億円（前期比494億円減）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は421億円（同242億円増）となりました。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△624億円（同195億円支出減）となりました。

- ・ 無形資産の売却による収入が243億円ありました。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△2,163億円（同132億円支出減）となりました。

- ・ 長期借入金の返済による支出300億円と、社債及び短期借入金の減少が300億円ありました。
- ・ 配当金の支払額は852億円（同91億円増）となりました。また、自己株式の取得による支出507億円（同416億円支出増）がありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、3,160億円（前期末比101億円減）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、次期の連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。通期連結業績予想（コアベース）は以下のとおりです。

#### [連結業績（コアベース）]

(単位：百万円)

	当期実績 (2022年3月期)	次期予想 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	<b>1,443,000</b>	+146,837 (+11.3%)
販売費及び 一般管理費	548,840	<b>598,000</b>	+49,160 (+9.0%)
研究開発費	246,010	<b>254,000</b>	+7,990 (+3.2%)
コア営業利益	244,744	<b>290,000</b>	+45,256 (+18.5%)
コア当期利益	190,584	<b>223,000</b>	+32,416 (+17.0%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	103.03	<b>122.05</b>	+19.02 (+18.5%)

(注) 基本的1株当たりコア当期利益の予想は、2022年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています

#### [通期の想定為替レート]

2023年3月期（想定）：120円／米ドル、135円／ユーロ

2022年3月期（実績）：112円／米ドル、131円／ユーロ

売上収益、コア営業利益及びコア当期利益はいずれも増加を予想しています。

次期の為替レートは、当期実績に比ベドル、ユーロともに円安になることを想定していることから、当期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては1,208億円の増加、コア営業利益においては253億円の増加の影響を見込んでいます。

#### 【売上収益】

売上収益は1兆4,430億円（当期比11.3%増）を予想しています。

- ・ 主要製品のXTANDI／イクスタンジをはじめ、重点戦略製品のゾスパタやパドセブ、エベレンゾが引き続き大きく成長する見通しであることから、売上収益は増加する見込みです。

#### 【コア営業利益／コア当期利益】

- ・ 売上原価率は主に製品構成の変化により低下する見込みです。
- ・ 販売費及び一般管理費については、競争力・価値向上に寄与しないコストを徹底的に見直すことによって経費全体の効率化を推進します。一方で、選択的ニューロキニン3受容体拮抗薬 fezolinetant や抗Claudin18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの上市準備に投資を振り向けるとともに、XTANDIの米国での売上拡大に伴い共同販促費用が増加することから、5,980億円（同9.0%増）を予想しています。
- ・ 研究開発費は、Primary Focusへの投資が拡大することから、2,540億円（同3.2%増）を予想しています。

以上の結果、コア営業利益は2,900億円（同18.5%増）を予想しています。また、コア当期利益は2,230億円（同17.0%増）、基本的1株当たりコア当期利益は122.05円（同18.5%増）を予想しています。

【主要製品の売上】

（単位：億円）

	当期実績 (2022年3月期)	次期予想 (2023年3月期)	増減率
XTANDI／イクスタンジ	5,343	<b>6,425</b>	+20.3%
ゾスパタ	341	<b>462</b>	+35.5%
パドセブ	217	<b>365</b>	+68.0%
エベレンゾ	26	<b>99</b>	+281.2%

通期連結業績予想（フルベース）は以下のとおりです。

【連結業績（フルベース）】

（単位：百万円）

	当期実績 (2022年3月期)	次期予想 (2023年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,296,163	<b>1,443,000</b>	+146,837 (+11.3%)
営業利益	155,686	<b>269,000</b>	+113,314 (+72.8%)
税引前利益	156,886	<b>267,000</b>	+110,114 (+70.2%)
当期利益	124,086	<b>208,000</b>	+83,914 (+67.6%)
基本的1株当たり 当期利益（円）	67.08	<b>113.84</b>	+46.76 (+69.7%)

（注）基本的1株当たり当期利益の予想は、2022年3月末発行済株式数（自己株式を除く）により算定しています

【通期の想定為替レート】

2023年3月期（想定）：120円／米ドル、135円／ユーロ

2022年3月期（実績）：112円／米ドル、131円／ユーロ

当期において、コアベースの業績では除外される「その他の費用」を計上したことにより、営業利益はコア営業利益と比較して891億円低い数字となりました。

次期においては、営業利益、税引前利益及び当期利益はいずれも増加を予想しています。

なお、2022年4月に公表した遺伝子治療プログラムAT702、AT751、AT753の開発中止に伴う無形資産の減損損失は織り込んでいます。

#### (4) キャピタルアロケーションに関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の持続的向上に努めるとともに、株主還元にも積極的に取り組んでいます。成長を実現するための事業投資を優先しながら、配当については、連結ベースでの中長期的な利益成長に基づき、安定的かつ持続的な向上に努めます。また、自己株式の取得を必要に応じて機動的に実施し、資本効率の改善と1株当たり利益の向上を図ります。

当期の年間配当金については、1株当たり50円（うち期末配当金として25円）としました。次期の年間配当金については、1株当たり60円（うち中間配当金として30円、期末配当金として30円）を予想しています。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目指し、2014年3月期決算から国際会計基準（IFRS）を適用しています。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上収益	1,249,528	1,296,163
売上原価	△246,063	△253,009
売上総利益	1,003,465	1,043,154
販売費及び一般管理費	△504,316	△548,840
研究開発費	△224,489	△246,010
無形資産償却費	△23,763	△28,283
無形資産譲渡益	—	24,234
持分法による投資損益	478	489
その他の収益	7,639	15,256
その他の費用	△122,963	△104,314
営業利益	136,051	155,686
金融収益	11,608	6,149
金融費用	△2,335	△4,949
税引前利益	145,324	156,886
法人所得税費用	△24,734	△32,800
当期利益	120,589	124,086
当期利益の帰属		
親会社の所有者	120,589	124,086
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	64.93	67.08
希薄化後1株当たり当期利益(円)	64.90	67.05



(2) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期利益	120,589	124,086
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	5,374	△5,078
確定給付制度の再測定	1,788	2,512
小計	7,162	△2,566
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	53,748	86,597
小計	53,748	86,597
その他の包括利益	60,910	84,031
当期包括利益合計	181,499	208,117
当期包括利益の帰属 親会社の所有者	181,499	208,117

(3) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	264,623	269,044
のれん	284,011	303,030
無形資産	651,427	623,431
売上債権及びその他の債権	33,924	29,796
持分法で会計処理されている投資	7,117	10,035
繰延税金資産	54,176	72,331
その他の金融資産	95,850	91,844
その他の非流動資産	9,913	9,531
非流動資産合計	1,401,040	1,409,041
流動資産		
棚卸資産	164,080	153,072
売上債権及びその他の債権	343,178	382,462
未収法人所得税	13,984	21,539
その他の金融資産	5,560	21,297
その他の流動資産	19,658	28,997
現金及び現金同等物	326,128	315,986
流動資産合計	872,588	923,354
資産合計	2,273,628	2,332,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,830	179,467
自己株式	△15,377	△13,934
利益剰余金	953,289	944,261
その他の資本の構成要素	167,373	247,512
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,386,115	1,460,308
資本合計	1,386,115	1,460,308
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	400	676
繰延税金負債	18,161	5,823
退職給付に係る負債	38,982	37,226
引当金	5,796	5,831
その他の金融負債	199,021	95,886
その他の非流動負債	32,782	39,234
非流動負債合計	295,141	184,676
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	124,777	130,739
未払法人所得税	8,395	32,388
引当金	22,187	16,570
その他の金融負債	148,163	184,964
その他の流動負債	288,851	322,751
流動負債合計	592,372	687,411
負債合計	887,513	872,087
資本及び負債合計	2,273,628	2,332,395

(4) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	120,589	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	53,748
当期包括利益合計	—	—	—	120,589	—	53,748
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△9,163	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	964	△365	△154	—
配当金	—	—	—	△76,157	—	—
株式報酬取引	—	768	—	—	—	—
振替	—	—	—	3,371	—	—
所有者との取引額合計	—	324	△8,199	△73,151	△154	—
2021年3月31日残高	103,001	177,830	△15,377	953,289	745	147,024
当期包括利益						
当期利益	—	—	—	124,086	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	86,597
当期包括利益合計	—	—	—	124,086	—	86,597
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△50,717	—	—	—
自己株式の処分	—	△391	735	△229	△115	—
自己株式の消却	—	—	51,427	△51,427	—	—
配当金	—	—	—	△85,236	—	—
株式報酬取引	—	2,028	—	—	—	—
振替	—	—	—	3,777	—	—
所有者との取引額合計	—	1,638	1,444	△133,114	△115	—
2022年3月31日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定			
2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
当期包括利益					
当期利益	—	—	—	120,589	120,589
その他の包括利益	5,374	1,788	60,910	60,910	60,910
当期包括利益合計	5,374	1,788	60,910	181,499	181,499
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△9,163	△9,163
自己株式の処分	—	—	△154	1	1
配当金	—	—	—	△76,157	△76,157
株式報酬取引	—	—	—	768	768
振替	△1,583	△1,788	△3,371	—	—
所有者との取引額合計	△1,583	△1,788	△3,525	△84,552	△84,552
2021年3月31日残高	19,604	—	167,373	1,386,115	1,386,115
当期包括利益					
当期利益	—	—	—	124,086	124,086
その他の包括利益	△5,078	2,512	84,031	84,031	84,031
当期包括利益合計	△5,078	2,512	84,031	208,117	208,117
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△50,717	△50,717
自己株式の処分	—	—	△115	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△85,236	△85,236
株式報酬取引	—	—	—	2,028	2,028
振替	△1,265	△2,512	△3,777	—	—
所有者との取引額合計	△1,265	△2,512	△3,893	△133,925	△133,925
2022年3月31日残高	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	145,324	156,886
減価償却費及び無形資産償却費	72,652	79,684
減損損失(又は戻入れ)	100,348	74,850
金融収益及び金融費用	△9,273	△1,200
棚卸資産の増減額	△2,318	24,058
売上債権及びその他の債権の増減額	22,161	△8,001
仕入債務及びその他の債務の増減額	△51,569	△10,101
その他	47,389	△16,639
小計	324,714	299,537
法人所得税の支払額	△17,870	△42,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,843	257,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,384	△30,739
有形固定資産の売却による収入	6,831	441
無形資産の取得による支出	△46,057	△45,709
無形資産の売却による収入	—	24,281
子会社の取得による支出	△14,916	△670
利息及び配当金の受取額	1,037	716
その他	2,594	△10,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,894	△62,413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	△206,000	△30,000
長期借入れによる収入	80,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△30,000
自己株式の取得による支出	△9,163	△50,717
親会社の所有者への配当金の支払額	△76,157	△85,236
リース負債の返済による支出	△15,891	△17,815
その他	△2,268	△2,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,479	△216,298
現金及び現金同等物の為替変動による影響	12,267	11,125
現金及び現金同等物の増減額	7,737	△10,143
現金及び現金同等物の期首残高	318,391	326,128
現金及び現金同等物の期末残高	326,128	315,986

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの主要な事業内容は医薬品の研究開発、製造及び販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは医薬品事業単一となっています。

製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上収益は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
XTANDI/イクスタンジ	458,434	534,317
プログラム	182,650	185,362
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	163,569	172,293
その他	444,875	404,191
合計	1,249,528	1,296,163

地域に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は次のとおりです。

地域別売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
日本	297,230	268,940
米国	478,768	544,103
その他	473,530	483,120
合計	1,249,528	1,296,163

(注) 地域別売上収益は、当社グループ各社の所在地を基礎として分類しています。

地域別非流動資産 (有形固定資産・のれん及び無形資産)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
日本	452,144	410,425
米国	640,120	674,761
その他	107,796	110,318
合計	1,200,060	1,195,505

主要な顧客に関する情報

連結純損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先は次のとおりです。

(単位：百万円)

	関連するセグメント名	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
McKesson Group	医薬品事業	193,182	218,745

(1株当たり当期利益)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	120,589	124,086
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	120,589	124,086
加重平均普通株式数(千株)	1,857,125	1,849,713
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	120,589	124,086
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	120,589	124,086
加重平均普通株式数(千株)	1,857,125	1,849,713
新株予約権による普通株式増加数(千株)	1,068	889
希薄化効果調整後加重平均普通株式数(千株)	1,858,193	1,850,602
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	64.93	67.08
希薄化後1株当たり当期利益(円)	64.90	67.05

(重要な後発事象)

当社グループは2022年4月、仕掛中の研究開発であるAT702、AT751、AT753の研究開発中止を意思決定しました。これに伴い、翌連結会計年度に無形資産の減損損失170百万米ドルをその他の費用として計上する予定です。